

第7回次世代地盤改良技術に関するワークショップ
(7th New Ground Improvement Technique 2016: NGIT2016)

主 催：国立研究開発法人 土木研究所
公立大学法人 富山県立大学
後 援：公益社団法人 地盤工学会北海道支部
公益社団法人 土木学会北海道支部
一般社団法人 資源・素材学会北海道支部
一般社団法人 日本応用地質学会北海道支部

- ・日 時：2017年1月19日(木)13:00～17:20
- ・場 所：土木研究所寒地土木研究所

プログラム

13:00～13:05 開催挨拶

13:05～14:35 基調講演（質問時間 10 分を含む）

北海道大学大学院工学研究院川崎了教授

ビーチロックに学ぶ国土修復保全技術の開発

富山県立大学工学部畠俊郎准教授

深海域などの特殊環境を対象とした微生物固化技術の新たな試みについて

14:35～17:15 話題提供（1 件につき、発表時間 15 分+質疑応答 5 分の合計 20 分）予定
今後変更の可能性あり

- (1) 稲垣由紀子（土木研究所）
微生物機能を活用した地盤の補修・補強の今後にむけて
- (2) 水野史隆（北海道大学大学院工学院）
現場試験施工をめざした炭酸カルシウム法の改良
- (3) 松岡大介（小野田ケミコ株式会社）
最近の地盤改良工法について
- (4) 打木弘一（基礎地盤コンサルタンツ株式会社）
ナノバブル水による微生物固化
- (5) 川崎稀文（富山県立大学工学部）
チュニジア国イシュケウル湖における底泥の巻上り抑制に着目した微生物固化技術に関する検討
- (6) 松林達也（富山県立大学工学部）
日本国内各地で採取した土壌由来の原位置微生物による液状化抑制効果に関する検討
- (7) 永峰賢（株式会社ロム）
農耕地土壌からの N_2O ガス発生を削減し植物生育を促進する微生物資材の開発
- (8) 中野晶子（九州大学）
脱窒反応を利用した MIDP の研究

17:15～17:20 閉会挨拶

18:00～20:00 意見交換会(中の島周辺)